

令和6年度 藤枝西高等学校第2回学校運営協議会（議事録）

1 日 時 令和6年10月29日（火）午後2時から4時15分

2 場 所 藤枝西高等学校 会議室

3 参加者

会 長	鈴木 尚夫	元高洲中学校校長
副会長	高橋 等	静岡産業大学教授
委 員	天野 恵	令和6年度PTA副会長

（委員の中西康人様（西益津地区支部長）伊東邦雄様（「日知塾プロジェクト」コーディネータ）は都合により不在）

校長（竹村）、副校長（和田）、教頭（秋月）、事務長（岩本）、総務・図書課長（高橋）、教務・情報課長（大村）、生徒・保健課長（東）、進路課長（藤田）

4 内 容 （司会）和田副校長

(1) 校長挨拶

- ・今年度の学校運営協議会は全3回の開催となる。
- ・今年の夏は暑く部活動指導も困難で、大きな地震も発生し、対応に苦慮した。
- ・始業日も台風があったが、生徒の安全確保に大きな事故はなかった。
- ・9月末にはガゼルの森の園児は参加できなかったが、体育祭が実行できた。
- ・今年度も受験対象の生徒数は減少傾向であるので、広報や中学生の一日体験入学、学校訪問で入学生の確保に務める。
- ・裁量枠は部活動、地域貢献、学業成績の3分類となる。

(2) 校内見学 6時間目の授業を見学。

(3) 学校運営の進捗状況について

ア 各分掌より

(ア) 総務・図書課

- ・PTA 役員、管理職がPTA 東海大会、全国大会へ出席した。
- ・行事開催時の駐車場整備について、職員数減少で担当がつけられないことが課題。PTA にもご協力いただいている。

(イ) 教務・情報課

- ・教育実習生を3名受け入れた。（体育祭にも参加）
- ・職員数減少に伴い行事の削減も検討したい
- ・2学期中間テスト前の学習時間調査の結果は、目標には達していないものの3年生は平日の学習時間の改善が見られた。
- ・三者面談で対応しているものの欠課数が多い生徒も出てきている
- ・採点支援システムの導入が進んでいるが、全自動ではないので苦慮している。
- ・3年生の探究の発表の授業などでクロムブックが活用できている。もう少し使いやすいアプリの導入が望まれる
- ・授業の質の向上を目指して、昨日から相互授業参観が行われている。

(ウ) 生徒・保健課

- ・令和7年度に向けた業務改善を実施している。
- ・部活動の1年生全員加入については引き続き検討する。
- ・いじめ等のアンケートについては年度末1回のみだったが、未然防止になることから、長期休業前後に実施するなど適切な回数について検討する。
- ・野球応援への1年生強制参加については1年生だけではなく全学年からの有志となるよう検討している。

(エ) 進路課

- ・現在までに、総合型選抜60名以上、学校長の推薦50名以上、指定校10名、看護系の推薦は19名が受験している。
- ・推薦利用の生徒が多いが、合格できなかった生徒のサポートを充実させたい。11月以降も推薦入試や一般入試等が控えているが、多様な進路希望を実現できる学校を目指していきたい。
- ・特進クラスについては次年度から「設置できる」との規定に変更。引き続き特進クラス設置の有無について検討する。
- ・総合型選抜での受験が増加している中、どのような指導に重点を置いていくべきか、総合的な探究の時間との連携も図りながら検討していきたい。

イ 第2回コンプライアンス委員会報告

(4) 学校運営の課題整理

ア コミュニティ・スクール3事業の運営について

(ア) 「日知塾」「はばたき学習室」について

- ・今年度から「はばたき学習塾」を追加設置した
- ・生徒の安全に配慮し、実施時間を30分早めた(18時開始、19時30分終了)が、「日知塾」は生徒が参加しにくくなるなどの影響はあまりなかった。「はばたき学習塾」は中学生の参加が難しいとの意見があった。
- ・「日知塾」は継続的に参加してくれる生徒がいないので、参加の呼び掛けについて学校でも検討してほしい。
- ・学校では生徒の希望を優先しているため日によって参加人数が異なってくる。

(イ) 「花いっぱい」について

- ・昨年度までは、学校が割り当てを決めていたが、本年度は、生徒の希望を優先して参加者を募集したところ希望者0の日があった。当日に呼び掛けて参加者が集まったこともあった。
- ・生徒主体で活動が継続していける体制が整えられるように検討していきたい。

(ウ) 「ウォーキングサッカー」について

- ・今年度は1、2学期の中間テスト最終日に計2回実施したが、両日とも40名ほどの生徒が参加した。1回目は一般の参加者があったが、2回目はなかったため、参加が増えるような手立てについて検討していく。

イ 部活動の運営について

- ・多くの外部指導者に入っていただくことで、運営が成り立っている。
- ・外部指導者の費用について、PTA会計からも支出を頂いており、引き続き援助をいただきたい。
- ・暑さ指数を守ると活動時間が短くなり教員が指導に苦慮したが、エアコン付きの

- 施設を借用するなどして凌いだ。
・今後も暑さが厳しい中での適切な指導方法を検討していく。

(5) 協議・意見交換

(鈴木委員長) コミュニティ・スクール事業は非常に厳しい運営状況であると認識している。教員の定員は増やせないのか。この状況について意見を伺いたい。

【「日知塾」「はばたき学習室」について】

(高橋委員) 実施時間等工夫しているが、高校生側にメリットがある仕立てにすれば積極性が上がるのではないかと。

(天野委員) 家庭では「日知塾」のことを子どもと話したことはない。

(鈴木委員長) 学校としては対応に苦慮していることはあるのか。

(生徒・保健課長) 令和7年度から入試の学校裁量枠として「地域貢献」が始まるので、生徒が主体的に地域のボランティア活動に参加できる仕組みとして、部活動や委員会の設置について話し合いを行っている。

(進路課長) 生徒主体で地域と連携して課題の問題解決に取り組ませれば、入試でのアピールにもなり、有意義であると思う。

【「花いっぱい」について】

(高橋委員) 植物を育てることに興味を持てれば生徒も自主的になると思うが、どのように持っていくか。部活動化は一つの方法だと思う。

(天野委員) 活動について成果を披露する場があれば、生徒も達成感を感じることができるのではないかと。

【「ウォーキングサッカー」について】

(高橋委員) 生徒はすぐ好きになるのではないかと。

(教頭) 運動不足な生徒にも参加してもらおう目的であったが、現状は運動部の生徒が主となっている。参加者からは、部や学年の境なく関わることができて、楽しく競技をすることができた、との感想をもらっている。当日は藤枝市サッカー協会の方が運営しているので、職員の負担はほとんどない。

【部活動について】

(天野委員) 子どもが女子バスケット部だったが、2年時には、指導経験のない教員が顧問となり、指導が大変そうだった。学校側は、人もいないし、時間的余裕もない環境で、指導が難しいのではないかと。

(高橋委員) 静岡産業大学の大学生が運営に関わるのは難しい。

【学校教育全般について】

(天野委員) 生徒たちは楽しそうに授業に集中していた。

(高橋委員) 指導要領の完成年度ということもあり、色々の工夫がなされていた。生徒同士の話し合いなど従前にはなかった教え方だった。「情報Ⅰ」が初めての受験科目となり注目しているが、制度が入れ替わる時は、生徒が苦勞する。